

令和4年  
伊豆市議会6月定例会

一 般 質 問

令和4年6月

令和4年伊豆市議会6月定例会一般質問者と質問事項

**6月7日(火) 午前9時30分～**

発言 順序	議席番号、氏名	質 問 事 項	答 弁 を 求 め る 者	ページ
1	2. 浅田 藤二	1 ふるさと納税について	市 長	1
2	4. 飯田 大	1 3 中学校再編後の施設活用と備品について	市 長 教育長	3
		2 水産業振興事業補助金について	市 長	
3	10. 間野 みどり	コロナ禍やウクライナ侵攻等、今の世界情勢において、次の2点を問う 1 教育問題について	教育長	5
		2 市民の生活について	市 長 教育長	6
4	5. 黒須 淳美	1 駅前地区まちづくりの将来像について	市 長	7
5	13. 青木 靖	1 民間宅地開発支援補助金の説明を	市 長	10
		2 大型事業が集中する今、財政状況の説明を		11
		3 運転免許の更新厳格化で高齢者の移動手段の対応策を		12

**6月8日(水) 午前9時30分～**

発言 順序	議席番号、氏名	質 問 事 項	答 弁 を 求 め る 者	ページ
6	1. 小川 多美子	1 地域づくり協議会について	市 長	13
		2 新ごみ施設稼働に向けて		14
7	16. 杉山 誠	1 物価高騰から家計・企業を守る取り組み（地方創生臨時交付金の活用）	市 長 教育長	16
		2 ヤングケアラーの支援について		17
8	6. 下山 祥二	1 インフラ整備の課題と対策	市 長 教育長	18
9	14. 三田 忠男	1 伊豆市の各種計画の作成と進捗管理について	市 長 教育長	20
		2 伊豆市教育大綱等と障害児者施策について		
		3 第2次伊豆市総合計画等と障害児者施策について	市 長	21



# 発 言 通 告 書



下記のとおり発言したいので通告します。

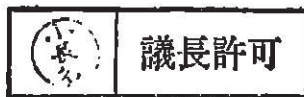
令和 4年 5月16日

伊豆市議会議長 様

議席番号 2 議員名 浅田 藤 二

発言の種別 (○で囲む)		一般質問・質疑・反対討論・賛成討論・その他 ( )
発 言 の 要 旨		答 弁 を 求 め る 者
件 名	内 容	
ふるさと納税について	<p>3月議会におきまして、「ふるさと伊豆市寄附条例の一部改正」について、賛成討論をさせていただきました。</p> <p>その後の進捗状況とこれからの取組みについて、質問させていただきます。</p> <p>伊豆市をはじめとする、小規模地方自治体において、いかに補助金を効率よく充当し、交付税措置のある起債を事業実施にあてていくかが、できる自治体、公務員の見本とされてきたのではないのでしょうか。</p> <p>現在は、地方の時代として国がふるさと納税の仕組みをつくり、その制度を活用し市役所がお金を稼ぐことが公認されました。</p> <p>令和3年度ふるさと納税額の全国1位は宮崎県都市で13,525,480千円でした。返礼品の人気は宮崎牛や宮崎地鶏・焼酎などに代表される特産品の数々でした。伊豆市の年間予算の半分以上の金額です。静岡県内では、焼津市が5,218,274千円で堂々の全国10位となっています。焼津には大きなビール工場がありますので、ビールの詰め合わせセットが人気ようです。</p> <p>自主財源がこれだけ確保できれば、今まで懸案だった福祉や教育、産業・観光など様々な行政課題が解決できるのではないのでしょうか。</p> <p>公務員が市民のために企画・営業をし、伊豆市のファンづくり・リピーターづくりに貢献できる。頑張っただけ、伊豆市への収入として数字として表れる。こんな楽しい</p>	市長

件 名	内 容	答 弁 を 求 め る 者
	<p>仕事はなかなかないと思います。</p> <p>自主財源が増えていくことでいろいろなやりがいや目標ができてくるのではないのでしょうか。しかも納税していただき、返礼品をお返しすることで地元の特産品が売れたり宿泊者が増えたりする。まさに地方にとっては一石二鳥の素晴らしい制度です。</p> <p>質問します。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. <u>令和3年12月末の集計で約820,000千円の寄付額があったと思いますが、令和4年3月末、令和3年度の集計金額はおいくらだったのでしょうか。</u></li> <li>2. <u>伊豆市の返礼品の内訳を教えてください。</u></li> <li>3. <u>宿泊施設や商工会、農協等に協力してもらい市内全域で使える宿泊券とセットの商品券は考えられませんか。</u></li> <li>4. <u>全国納税額の上位の自治体の返礼品はその地方の特産品が人気です。特産品への取り組み、営業は現在どのようなになっていますか。</u></li> <li>5. <u>総務省には地域活性化起業人(起業人材派遣制度)や外部専門家(地域力創造アドバイザー)制度があり、ほぼ自治体の負担無しで利用できる制度があります。民間企業と連携し、営業・企画のノウハウを持った人材を確保するお考えはありますか。</u></li> <li>6. <u>はじまったばかりですが、条例改正後の納税額の推移、検証をしていただき、これからの取り組みについてのお考えをお願いします。</u></li> <li>7. <u>「国があなたのために何をしてくれるのかを問うのではなく、あなたが国のために何をなすことができるかを問うてほしい」と尊敬する偉大な方がいられています。市民のみなさんも伊豆市のために貢献したいと考えていると思います。希望する市民のみなさんが営業マンになれる制度構築に対する市長の考えをお伺いします。</u></li> </ol>	



# 発 言 通 告 書



下記のとおり発言したいので通告します。

令和 4年 5月 23日

伊豆市議会議員 様

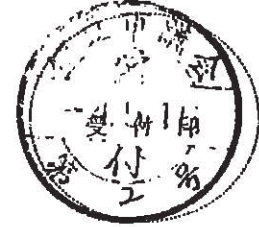
議席番号 4 議員名 飯田 大

No. 1

発言の種別 (○で囲む)		一般質問・質疑・反対討論・賛成討論・その他 ( )
発 言 の 要 旨		答 弁 を 求 め る 者
件 名	内 容	
1 3 中学校再編後の施設活用と備品について	<p>修善寺・天城・中伊豆中学校は統合され令和7年4月より日向地区に開校される。生徒がのびのびと育つ活力のある学校が誕生します。計画は前倒しされ、令和4年度当初より造成工事が着工されました。開校までのスケジュールどおりに進むことを期待しています。</p> <p>一方、廃校となる3校については公共施設の再配置計画の対象であり、廃校となることが決まっています。下記の項目①から⑥についてどのような方針なのか、現時点での計画について伺います。</p> <p>① <u>運動場を含めた敷地</u>            ② <u>校舎・体育館・独立した建築物</u>            ③ <u>老朽化診断、管理部門</u>            ④ <u>あり方検討の進め方</u>            ⑤ <u>図書室・音楽室の備品</u>            ⑥ <u>校章・校歌・校訓・校旗・賞状・記念品・記念碑・記念樹</u></p>	市長 教育長
2 水産業振興事業補助金について	<p>令和4年度新規事業として6款3項1目水産業振興費に水産業振興事業補助金が予算化されました。水産事業に係る環境保全や水産資源の維持業務に取り組む団体への振興事業補助金交付事業です。主に市内の海・河川を管轄する漁業協同組合に対する補助事業と解釈します。</p> <p>伊豆漁業協同組合は、約6,000名の組合員で構成され、</p>	市長

件 名	内 容	答 弁 を 求 め る 者
	<p>市内組合員については、全組合員の約8%に当たる502名が登録されています。八木沢地区のテングサは、品質も良く消費者や製菓業者等からも好評を得ています。一方で、テングサの水揚げ量については、伊豆漁協全体で、平成23年には約54トンあった水揚げ量が令和2年には約10トンにまで激減している状況です。</p> <p>狩野川漁業協同組合は、約1,400名の組合員で構成され、市内組合員は全組合員の約40%に当たる552名、入漁証販売負請業者（おとり店）は20店が登録されています。全川での入漁料収入はここ3年で半減しています。</p> <p>駿河湾や狩野川における、このような状況を受けて、この事業については、豊富な水産資源の再構築との施策ととれますが、下記について伺います。</p> <p>① <u>この事業の目的について伺います。</u></p> <p>② <u>結果を踏まえた単年度事業ですか。</u></p> <p>③ <u>流域市町を含めた広域連携事業に発展させていくべきだと考えますが、市の考えをお聞かせください。</u></p>	

## 発 言 通 告 書



下記のとおり発言したいので通告します。

令和 4年 5月 16日

伊豆市議会議長 様

議席番号 10 議員名 間野 みどり

No. 1

発言の種別 (○で囲む)		( 一般質問 )	・ 質疑	・ 反対討論	・ 賛成討論	・ その他 ( )
発 言 の 要 旨						答 弁 を 求める者
件 名	内 容					
<p>コロナ禍やウクライナ侵攻等、今の世界情勢において、次の2点を問う</p> <p>1. 教育問題について</p>	<p>緊急事態宣言やまん延防止等重点措置等は解け、感染者も減少傾向とはいえ、終息まではいかず、今後もコロナ禍での生活の仕方を考えていかなければならない日々です。</p> <p>また、世界情勢では、ロシアのウクライナ侵攻のことが毎日大きく報道され、テレビ等のメディアから情報が伝わってきています。</p> <p>このような状況の中、伊豆市の子ども達の中でも、不幸にもコロナウイルスに感染してしまい、その後、後遺症等により回復が思うように進まなかったり、感染による周囲からの偏見により、心の疲れや不登校につながるケースもあると聞いています。</p> <p>また、新聞やテレビに留まらず、インターネットやSNSによる、ウクライナ侵攻の悲惨な現状の画像や情報等を、子ども達も簡単に目や耳にすることが出来ています。</p> <p>このような状況の中、子ども達の心は大丈夫なのか、心配になります。そこで、次のことを質問します。</p> <p>1. 新型コロナウイルス感染症について</p> <p>① <u>コロナ感染後の子ども達の、その後の問題点や状況等、把握していますか。</u></p> <p>② <u>また、その把握した問題点や状況の対応についての考え方を伺います。</u></p>					教育長

件名	内容	答弁を 求める者
2. 市民の生活について	<p>③<u>コロナについて、教育現場での今後の課題はどのように考えますか。</u></p> <p>2. ウクライナ侵攻について</p> <p>①<u>教育現場では、ウクライナ侵攻のことはどのように子ども達に知らせていますか。</u></p> <p>②<u>このような世界情勢の中、教育委員会としては子ども達のためにどのようなことを大人たちがしていったらよいかと考えていますか。</u></p> <p>コロナ禍やウクライナ侵攻等の世界情勢により、同じような不安や悩みを抱えているのは、子ども達だけでなく、大人の中でも多くいると思います。</p> <p>特に、2022年3月15日の静岡新聞で、女性の自殺が増加していて、依然コロナの影響があるとの記事がありました。</p> <p>また、以前から私の一般質問において課題としてきた下記の問題も明らかに増えている状態を否めません。そこで、次の質問をします。</p> <p>①<u>8050（ひきこもりの子を支える高齢の親）問題ですが、コロナ禍と関連して、問題を把握していますか。</u></p> <p>②<u>ひきこもり問題は、どのように把握していますか。</u></p> <p>③<u>ヤングケアラーの問題はどうですか。</u></p> <p>④<u>その他、このような社会情勢の中、新たな伊豆市の問題点がありましたら、教えて下さい。また、そのことに対して、今後どのように対処していくか教えて下さい。</u></p>	市長 教育長





発 言 通 告 書



下記のとおり発言したいので通告します。

令和 4年 5月 23日

伊豆市議会議長 様

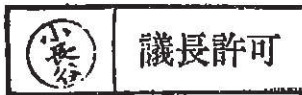
議席番号 5 議員名 黒須 淳美

No. 1

発言の種別 (○で囲む) <u>一般質問</u> ・ 質疑・ 反対討論・ 賛成討論・ その他 ( )		
発 言 の 要 旨		答 弁 を 求 め る 者
件 名	内 容	
駅前地区まちづくりの将来像について	<p>去る4月23日(土)、「県道伊東修善寺線の改良に伴う駅前地区のまちづくりの将来像について」と題したタウンミーティングが駅前コミュニティ会館で開催されました。コロナ禍の折、イスの間隔を空けるなどの対策を取った会場でしたが、その広い会場が全て埋まるほどの参加者があり、始まる前から地元のみなさまの関心の高さが伺われるものでした。</p> <p>市長からは早速、道路改良などの全体像が分かりやすいよう大きな地図を用いての説明、そして今回はその改良工事のみならずこの工事が駅前地区へもたらす波及効果についても一緒に地元のみなさまと考えていきたい、という意図を持ったタウンミーティングであるとの趣旨が示されました。</p> <p>その後の質疑応答では参加者から、それぞれが関心のあるところで活発な意見や質問などが出されたと記憶しています。</p> <p>例えば、道路拡幅に伴う交番の移転先、新中学校への通学路の問題、観光に関しても伊豆市の玄関口である修善寺駅周辺のあり方など。中でも一番大きな話題となったのが長年の懸案事項である修善寺橋架け替えについてでした。安全・安心なまちづくりを考える時、伊東修善寺線の渋滞対策なくしては話れないと考えているのは住民も行政も同じと思ったところです。</p>	市長

件 名	内 容	答 弁 を 求 め る 者
	<p>そこで、</p> <p>① <u>このタウンミーティングで出された住民からの意見や質問についての市長の所感、そして担当部課ではその後どのように取り扱いまとめているかについて伺います。</u></p> <p>② 今回、地元の方たちと直接顔を見ながら意見を交わしたことの意義は大変大きいと感じています。というのも、タウンミーティングがコロナ禍で延期された中、この事業が市道ではなく県道であることから、中々思うように地元の方たちへの情報提供などがされて来なかったと思われるからです。住民の側から見ると、住民にとって必要な情報が伝わってこない、それが将来への不安につながり、行政への信頼を損ねてしまうことにつながっていくのではと見受けられることがありました。3月の一般質問の折にも触れましたが、このように大きな事業ならなおさら地元の関係する住民のみなさまとの意思疎通、コミュニケーションを大切に<u>して進めて行っていただけたらと強く願うものです。</u> <u>これについてどのように受け止めているか、またこの話合いを受け地元関係者との関わりについて改善していくことがあるとしたらそれはどんなことが考えられるかお聞かせください。</u></p> <p>③ 今現在、駅北の市道新町線において生垣を撤去し歩道の広さを確保するなどの安全対策の改良工事が行われています。通園、通学そして高齢の方また障害のある方などにとって安心して使えるということは日々の生活がしやすくなることと思います。道路の改良工事は、ただ単に車道や歩道が拡幅されて良かった、で終わるものではなく、更にこれをきっかけにその周辺が活力を取り戻し、もう一度広く「まちづくり」について考</p>	

件名	内容	答弁を 求める者
	<p>える、そんな機運を高める効果もあると感じています。実際に駅前周辺の活性化を考えていきたい、という住民の方たちの声も聞かれているところです。このように住民からの自発的な動きに対して今後市はどのように向き合っていくのか教えてください。</p> <p>④ 観光を基盤産業とする伊豆市にとってその玄関口である修善寺駅周辺の安全・安心を確保することは、ここから修善寺温泉や中伊豆、天城そして土肥へつなげていくことを考えると、やはりこの修善寺橋のあり方抜きには考えられないと思います。その最終的な解決策となるであろう修善寺橋架け替えについて、今後の具体的な見通しなどお示しいただけるでしょうか。</p>	



# 発 言 通 告 書



下記のとおり発言したいので通告します。

令和 4年 5月 23日

伊豆市議会議長 様

議席番号 13 議員名 青木 靖

No. 1

発言の種別 (○で囲む)		一般質問	質疑・反対討論・賛成討論・その他( )
発 言 の 要 旨			答 弁 を 求 め る 者
件 名	内 容		
1. 民間宅地開発支援補助金の説明を	<p>令和4年5月の定例記者会見で、民間事業者による宅地開発を促進する目的で「伊豆市民間宅地開発支援補助金」制度を6月から施行する、との発表がありました。</p> <p>制度の内容について、概要の発表があっただけですので、制度制定の背景を伺います。</p> <p>① 対象地を限定して、修善寺駅から半径1キロ、牧之郷まちづくり構想区域内、天城小学校・中伊豆小学校・土肥小中一貫校の周辺、市から払い下げを受けた公共施設跡地としていますが、対象地を選定した理由は何か伺います。</p> <p>② 対象事業は、1,000㎡以上の新規造成の宅地開発で、道路・調整池整備に上限750万円、ゆとりある分譲に区画50万円で上限750万円、としていますが、それぞれの数字の決定に至る背景と期待する効果は何か伺います。</p> <p>③ 対象者は、宅地開発をする事業者、としていますが、具体的には、どのような事業者を想定していますか。</p> <p>地元の事業者を想定しての補助金事業なのでしょうか。</p> <p>宅地開発のような相当の経営体力が必要な事業は、当初から大手の事業者や金融機関などとプロジェクトを組んで取り組むべき、との考え方もありますが、どのように考えますか。</p>		市長

件名	内容	答弁を 求める者
2. 大型事業が集中する今、財政状況の説明を	<p>現在、伊豆市内では、伊豆の国市との新ごみ処理施設建設工事、中伊豆温泉病院の移設新築工事、牧之郷駅周辺整備工事、新中学校建設工事と大型事業が同時進行で行われています。</p> <p>議会に対しては、その都度、事業や予算の議案の説明がなされてきていますが、市民からは「伊豆市は、あちこちで大きな工事ばかりやっているようだが、大丈夫なのか」と、ご心配いただく声も聞こえてきます。</p> <p>将来負担が少なくなるよう有利な起債を利用し、真に必要な施設を整備しながら、重複する公共施設などは再配置を進める、との説明を受けて、そのように理解しているところではありますが、目に見えて工事が進んでいる今、あらためて伊豆市の財政状況を、市民にもわかりやすく説明する必要があると思いますが、いかがですか。</p> <p>① 今までにも広報紙などで、将来にわたる財政計画を広報していますが、再度、最新の状況を反映させた財政シミュレーション、歳入・歳出の状況の説明を広報しませんか。</p> <p>② 事務事業の外部包括委託や、公共施設の再配置などで財政の効率化を図っていかうとしているところですが、主に人件費など経常的経費を確保する上で、その効果をどの程度必要と考えているのか、金額で伺います。</p> <p>③ 伊豆市においても起債の一例として、合併特例債を活用して必要な事業を行っています。充当率 95%で、後年度に元利返済額の 70%が普通交付税措置されるものですが、一方で、国の交付税財源は不足しいて赤字国債で賄っている状況です。市としては、こうした国の状況をどのように捉えて財政運営に当たっているのか伺います。</p>	市長

件 名	内 容	答 弁 を 求 め る 者
<p>3. 運転免許の更新 厳格化で高齢者の移 動手段の対応策を</p>	<p>本年5月の道路交通法改正で、75歳以上の高齢運転者の方の免許更新の際に、70歳以上に課される高齢者講習、従来の認知機能検査に加え、一定期間に、信号無視・踏切不停止など11種類のうち違反がある場合、実際に自動車を走行させる運転技能検査を受けて合格しないと運転免許証の更新が出来なくなりました。</p> <p>認知機能検査も難しい内容になっていることと併せると、75歳以上で運転免許証の更新が出来ない方が、今後増加する傾向になるのではないかと、言われています。</p> <p>① 以前、高齢者の方の移動手段の確保の方策として、既存の交通事業者のタクシーなどの利用補助額を増加する提案をした際は、今は他の手段を検討する、との回答でした。上記のような状況の変化を踏まえたうえで、高齢者の移動手段の確保について、現在、どのような対応を考えていますか。</p> <p>② 高齢者の移動手段の確保について、様々な事業モデルがありますが、登録・許可が必要なもの、登録・許可が不要なもの、それぞれの市内での実施状況や今後の動向について把握し評価していますか。</p> <p>③ 住民主体の移動サービスについては、先行事例が多数存在しています。運転等を無償のボランティアで行う方法なら登録や許可が不要なため、立ち上げが容易で取り組みやすいものの、長続きせず、結果として、利用していた方が他の移動手段を見つけるために、結局、行政に頼ってくる事例が多かったとも聞いています。住民主体の移動サービスについても、運営方法の情報共有についてなど、初めから市の関与が必要と考えますが、いかがですか。</p>	<p>市 長</p>



議長許可

# 発 言 通 告 書



下記のとおり発言したいので通告します。

令和 4年 5月 23日

伊豆市議会議長 様

議席番号 1 議員名 小川多美子

No. 1

発言の種別 (○で囲む)		一般質問・質疑・反対討論・賛成討論・その他 ( )
発 言 の 要 旨		答 弁 を 求 め る 者
件 名	内 容	
1 地域づくり協議会について	<p>伊豆市地域づくり協議会の支援要綱によりますと、協議会は地域住民による地域課題の解決及び地域の個性を生かしたまちづくりを推進すること目的とあります。</p> <p>協議会の設立単位は、概ね小学校区を単位とする、となっており平成16年4月の時点での小学校区とされています。修善寺地区で4小学校区、中伊豆地区で4小学校区、天城湯ヶ島地区で3小学校区、土肥地区で2小学校区の合計13の旧小学校区に区分けされます。このうち幾つかは既に設立されていますが、今年(令和4年)4月に修善寺東小学校区に9番目の協議会が設立されました。修善寺地区においては、修善寺南小学校区と修善寺小学校区で未だ設立されておりません。</p> <p>修善寺南小学校区は、おそらく市内で人口も一番多い学区だと思います。地域には駅前・柏久保のような商業と住宅の併存の地域、牧之郷のような住宅地域、大野・年川のような中山間地域と3つに分かれます。</p> <p>修善寺小学校区は、温泉場地域と桂谷地域のような中山間地域の2つに分かれます。</p> <p>このような明らかに性格の違う住宅、生活環境地域を小学校区というくくりで協議会の設立単位とすることに無理があるような気がします。</p> <p>協議会設立単位については、これまでの議会の中で再三取り上げられたことがあると聞いておりますが、結果とし</p>	市長

件名	内容	答弁を求める者
2 新ごみ施設稼働に向けて	<p>て何の変わりもなく今日に至っているとのことです。</p> <p>「自ら考え、自ら行動する組織」「自分たちの地域は自分たちで考えましょう」というのが協議会の考え方であり目指す姿であると言うことですので、それには市民の住居や生活環境を考慮した設立単位があつてしかるべきかと考えられます。</p> <p>こうした点を踏まえて、</p> <p>① <u>設立単位の再検討をして戴くことは出来ないでしょうか。</u></p> <p>② <u>13 地区のうち9地区で協議会が設立されましたが、先程の修善寺2地区も含めた設立されていない4地区に関して、設立準備が進んでいるのか。或いは準備さえ整っていない等々、様々な事情があるとは思いますが、担当部としてはどのようにその内容を把握し、又設立促進に向けてどのような考えがあるのかお聞かせください。</u></p> <p>③ <u>協議会が設立された以降の活動において、要綱に示された役割や遵守すべき事項を果たせなかった場合は登録の取り消しと言った措置が執られることになっているようですが、その判断は具体的にどのようにされるのでしょうか。</u></p> <p>④ <u>交付金の使われ方ですが、高額な交付金ですから要綱に則った事業に適正に使われていることを審査する機関があるかと思えます。問題点はないか等、見解をお聞かせください。</u></p> <p>伊豆市、伊豆の国市両市のごみ処理施設も令和5年1月（半年後）には稼働開始となり、その前段階として今年（令和4年）の10月には試運転が始まります。新しいごみ処理体制に大いに期待すると共に、担当部署からは改めて利用する皆さんに更に徹底した指導、注意をお願いしたいと思えます。</p>	市長



件名	内容	答弁を 求める者
	<p>ごみ袋の価格について伺います。</p> <p>以前も質問させて戴いていますが伊豆の国市との価格差がどのようになったか気になります。市民から質問されても明確に答えられずに歯がゆい思いをしております。進捗状況を教えてください。</p> <p>① <u>伊豆の国市との新ごみ施設建設計画が出来てから何年も経過しています。この間に当然ごみ袋の価格検討はされてきたと思いますが、格差是正にはならなかったでしょうか。稼働までに料金が改定されると思っていた方が多いと思います。住民の皆さんが納得できる説明をお願いします。</u></p> <p>② <u>料金が改定されない場合、伊豆市の住民が伊豆の国市のごみ袋を購入し、直接処理場に持ち込むようなことも考えられますが、このようなことがあった場合、どのように対処しますか。</u></p> <p>③ <u>ごみ袋をまとめ買いする人もいます。万一、価格が変わった場合、どう対処するのか周知について伺います。</u></p> <p>④ <u>新しい「ごみ出し便利帳」を配布するということですが各家庭にはいつ頃届くでしょうか。また、便利帳等を通じて市民にごみ処理についてPRする方針について伺います。</u></p> <p>環境保全に配慮し、長期的に安心、安全で住民に貢献できる施設であることを望みます。</p>	



# 発 言 通 告 書



下記のとおり発言したいので通告します。

令和 4年 5月 23日

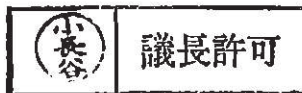
伊豆市議会議長 様

議席番号 16 議員名 杉 山 誠

No. 1

発言の種別 (○で囲む)		答 弁 を 求 め る 者
一般質問・質疑・反対討論・賛成討論・その他 ( )		
発 言 の 要 旨		
件 名	内 容	
1 物価高騰から家計・企業を守る取り組み (地方創生臨時交付金の活用)	<p>長引くコロナ過に加えて、原油価格や物価高騰の影響により、生活者や事業者は様々な分野で大きな負担を強いられている。</p> <p>政府が4月に発表した総合緊急対策では、自治体の事業を国が財政支援する「地方創生臨時交付金」を拡充し、「コロナ禍における原油価格・物価高騰対応分」1兆円の創設が決まり、自治体への配分も決定しているとのこと。</p> <p>この交付金は、自治体の判断で生活者支援や事業者支援など、様々な事業に活用できるが、当市での活用状況について伺う。</p> <p>①学校給食費等の負担軽減について。食材費の高騰による保護者の負担増回避のための活用。交付金は学校だけでなく、幼児施設や介護施設の食事にも適用可能だがいかがか。</p> <p>②生活困窮者に対する臨時特別給付金の対象拡大や給付額の上乗せについて。</p> <p>③子育て世帯生活支援特別給付金の対象拡大や給付額の上乗せについて。</p> <p>④水道料金をはじめ公共料金負担に対する補助について。</p> <p>⑤バスやタクシーなどの地域公共交通、貸切バスやトラック運送など道路運送業事業者への経営支援。</p> <p>⑥地域経済の活性化と生活者支援を目的としたプレミアム商品券の発行。</p> <p>⑦この他に地方創生臨時交付金「コロナ禍における原油価格・物価高騰対応分」の活用を検討している事業。</p>	市長 教育長

件名	内容	答弁を求める者
2 ヤングケアラーの支援について	<p>大人に代わって毎日のように家族の世話や家事をする18歳未満の子ども「ヤングケアラー」について、政府が昨年4月に公表した全国の公立中学校に通う2年生（回答者5,568人）や、全日制高校の2年生（回答者7,407人）を対象に2020年12月から翌年2月にかけて行った調査結果では、世話をする家族が「いる」と答えた割合は、中学生が5.7%で17人に1人、全日制高校2年生は4.1%で24人に1人だった。</p> <p>世話をする家族がいると答えた生徒のうち、頻度が「ほぼ毎日」と答えたのは中学2年生で45.1%、全日制高校2年生は47.6%に上った。</p> <p>平日1日に費やす時間は、中2が平均4.0時間、高2が同3.8時間、そのうえで「7時間以上」との回答がそれぞれ約1割あった。世話をする家族の内訳を複数回答で聞いたところ、「きょうだい」が中2で61.8%、高2で44.3%と最も多く、また、世話をする家族がいる中高生の6割以上は相談経験がなかった。</p> <p>今年1月には全国の小学6年生を対象に郵送などで調査を実施して9,759の回答をまとめ、大学3年生にもインターネットで調査9,679人の回答をまとめた。これによると、小学6年生では世話をする家族がいるのは6.5%で15人に1人、家族の内訳は複数回答で「きょうだい」が71%と最も多く、「母親」の19.8%が続いた。世話の内容は食事の準備や洗濯、送り迎え、入浴やトイレの介助などで、その頻度は「ほぼ毎日」が半数を超えた。また、平日1日に費やす時間は「1～2時間未満」が27.4%と最多だったが、「7時間以上」が7.1%に上っている。</p> <p>小学生のヤングケアラーの中に「お手伝い」の範囲を超えて家族を支える子どもがいる現状は深刻で、世話をする家族がいる児童は、いない児童よりも欠席や遅刻、早退をすると答えた割合が高いことも判明しており、健康や学業への影響が強く懸念されている。家族のために献身する行為自体は尊いものだが、それが原因で自分の将来に希望が持てず苦しむようなことがあってはならない。</p> <p>政府はヤングケアラーに関する実態調査と前後して支援策の強化を進め、2022年度から3年間を「集中取り組み期間」と定め関連費用を予算化している。</p> <p>地方自治体での取り組みも求められており、マニュアルも公表されているが、ヤングケアラーの実態把握や支援について、当市ではどのように取り組むか。</p>	市長 教育長



# 発 言 通 告 書

下記のとおり発言したいので通告します。

令和4年5月22日

伊豆市議会議員 様

議席番号 6番 議員名 下山 祥二

No 1

発言の種別 (○で囲む)		一般質問・質疑・反対討論・賛成討論・その他 ( )
発 言 の 要 旨		答 弁 を 求 め る 者
件 名	内 容	
1. インフラ整備の課題と対策	<p>伊豆の国市との広域連携による新ごみ処理場の完成稼働まで残り7ヶ月となりました。また日向地区では新中学校の造成工事が始まり、さらにその南側には防災公園も計画されています。伊豆市の自治体規模の割には大型公共事業が目白押しです。いずれも市民の命を守り魅力溢れるふるさと伊豆を目指し、市民の満足度を高めるため持続可能なまちづくりの推進であると思っています。しかしながら2年以上も新型コロナ感染に苦しむ中、ロシアによるウクライナ侵攻はさらに不安定な世界情勢に拍車をかけています。エネルギー資源や建築資材の高騰によりその確保が困難な状況に陥り、上がらぬ国民所得に比べ物価はさらに高騰しつつあります。結果的に伊豆市もこの先厳しい財政運営を強いられることが危惧される中、現状のインフラ整備の課題とその対策について伺います。</p> <p>① 伊豆市の主力産業は観光であり、伊豆を訪れる観光客には美しい自然とその景観は観光地のおもてなしとして大きなアドバンテージであると思います。まん延防止が解除された今年のゴールデンウィークは多くの観光客が伊豆を訪れ、久々に市内各所でも渋滞が起きるほど賑わいましたが、美しい眺望が堪能できているのか幹線道路沿線の美化は十分に整備されているか不安を覚えました。今後の道路整備計画と観光客を意識した沿線の景観整備について伺います。</p>	市長 教育長

件名	内容	答弁を 求める者
	<p>② 経済状況の変化により自治体の専門職員不足や建設業界の人手不足が深刻化しています。大型公共事業を抱える本市として、この課題にどのように向き合い取り組んでいくのか伺います。</p> <p>③ 新中学校の造成工事が始まり工事の進捗状況を度々目にしています。しかしながら過去の公共工事で高力ボルトの品不足により工事に支障を来し完成が半年も遅れたケースがありました。新中学校の建設工事の進捗は確実に進んでいるか現状と今後の見込みについてお聞きします。</p> <p>④ 一般的なインフラ整備ではありませんが、住民の命を守り快適な暮らしを支えるべき行政の役割としてお聞きします。昨年、静岡県は宗教法人平和寺に対し敷地内の土砂を撤去するよう措置命令を発令しました。その期限は今年の3月末であり既に2ヶ月が経過しました。その後の動向を市民と情報共有すべきであると思います。現段階での県の動向と伊豆市としての対策について伺います。</p> <p>⑤ 土地利用事業に影響が出ています。土採取、盛土等の法規制に伴い公共事業による残土処理は工事を進めていく上で重い負担となっております。市民や市内建設業者の皆さんとの連携により伊豆市で残土処分場を確保すべきと思いますが如何ですか。</p>	



# 発 言 通 告 書



下記のとおり発言したいので通告します。

令和 4年 5月 23日

伊豆市議会議長 様

議席番号 14 議員名 三田 忠男

No. 1

発言の種別 (○で囲む)		一般質問・質疑・反対討論・賛成討論・その他( )
発 言 の 要 旨		答 弁 を 求 め る 者
件 名	内 容	
1. 伊豆市の各種計画の作成と進捗管理について	<p>「第2次伊豆市総合計画」を始めとして「伊豆市の新しい都市計画」マスタープラン、「伊豆市公共施設再配置基本方針」「伊豆市地域福祉計画」「伊豆市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画」「障がい者計画・障がい福祉計画・障がい児福祉計画」「伊豆市教育大綱」「伊豆市学校施設長寿命化計画」等様々な計画が策定され、行政施策の基本に位置付けられていると考えますが、以下概論的に伺います。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 国からの指針もあるでしょうが、計画作成時、一番大切にしてきたことはどのようなことですか。</li> <li>2. 市民の意見は、どのように把握していたのですか。</li> <li>3. 策定された計画の市民への周知はどうしてきましたか。</li> <li>4. 計画の進捗状況の把握や見直しはどうしていますか。</li> <li>5. 進捗状況が遅れている場合、どのような対応で取り組んできましたか。</li> </ol>	市長 教育長
2. 伊豆市教育大綱等と障害児者施策について	<p>伊豆市教育大綱の文面で、</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 障害児者関係の記載が見受けられませんが、どのように位置づけられているのか伺います。</li> <li>2. 個別事業の修善寺地区小学校の統廃合、特別支援教育就学奨励事業の内容と進捗状況を伺います。</li> <li>3. 「令和3年度の伊豆市の学校教育」の特別支援教育の</li> </ol>	市長 教育長

件名	内容	答弁を 求める者
<p>3. 第2次伊豆市総合計画等と障害児者施策について</p>	<p>充実の項目の進捗状況と課題について伺います。</p> <p>4. 医的ケア児童の義務教育の取組みについて伺います。</p> <p>5. 伊豆市学校施設長寿命化計画と伊豆市公共施設再置基本方針の中伊豆小学校の取扱いの進捗状況を伺います。</p> <p>まず初めに、伊豆市の障害児者への行政施策の所感と市長として、重点的に取り組んだ事業について伺います。</p> <p>各論で以下伺います。</p> <p>1. 総合計画の中での、位置づけはどのようになされているのか伺います。</p> <p>2. 伊豆市の障害児者の人数や生活実態、就労状況、介護状況等伺います。</p> <p>3. 利用しているサービス内容の実際と不足している施策の内容と今後の計画について伺います。</p> <p>4. 障害者優先調達推進法の調達方針と実績について2～3年の推移を伺います。</p> <p>5. 農福連携事業の取組み実績と市内連携について伺います。</p> <p>6. 障害児者の文化芸術活動支援の取組み実績と今後の方針について伺います。</p>	<p>市長</p>